

予算決算委員会会議録

1. 開催年月日

令和5年12月14日 開会 9時59分 閉会 10時43分

2. 開催場所

全員協議会室

3. 出席委員名

沖久教人	三宅孝之	多賀信祥	柳原英子
山下憲雄	細羽敏彦	西村慎次郎	荒木謙二
柳井一徳	惣台己吉	坊野公治	上野安是
西田久志	大滝文則	宮地俊則	佐藤豊

4. 欠席委員名

なし

5. その他の会議出席者

(1) 議長 三宅文雄

(2) 説明員

副市長	猪原慎太郎	総合政策部長	安東慎吾
総務部長	藤原雅彦	市民生活部長	久安伸明
健康福祉部長	沖津幸弘	建設経済部長	岡本健治
水道部長	一安直人	総務部次長	西村直樹
市民生活部次長	毛利恵子	健康福祉部次長	片井啓介
水道部次長	曾根剛	総務部参与	岡崎祐一
建設経済部参与	田中大三	危機管理課長	金政吉伸
市民課長	藤井隆史	環境企画課長	朝原博幸
介護保険課長	森川正康	農林課長	中山浩一
建設課長	池田泰之	都市施設課長	田口政之
下水道課長	馬越敏晴		
教育長	伊藤祐二郎	教育次長	唐木英規
文化スポーツ課長	高田知樹	学校給食センター所長	立花計志

(3) 事務局職員

事務局長	和田広志	次長	成智千恵
------	------	----	------

6. 傍聴者

(1) 一 般 0名

(2) 報 道 0名

7. 発言の概要

委員長（西田久志君） 皆さんおはようございます。

ただいまから予算決算委員会を開会いたします。

初めに、副市長のごあいさつをお願いします。

副市長（猪原慎太郎君） 皆さんおはようございます。

今年の冬は暖冬ということで、比較的暖かい日が続いております。しかし、この週末日曜あたりから冷え込むということを言われておりまして、しばらくは寒い日が続くという予報もされております。とにかく温度差がとても激しい状況ということでありますので、くれぐれもお体をご自愛いただきたいと思っております。

今日は岸田内閣の一部閣僚が交代ということであります。一時期は加藤先生の名前も取り沙汰されておりましたが、どうもそうはなっていないようでございます。それから、昨日の新聞だと思うんですが、政府が打ち出しました低所得世帯向けの給付金の概要というものが示されたところであります。所得税、住民税共に非課税の世帯につきましては7万円の給付金をするということが言われておりまして、この件につきましては今議会最終日に追加で予算を計上をお願いしたいと思っております。それに加えて、非課税世帯にはさらに、18歳以下の子供1人当たり5万円を上乗せするというとも言われておりまして、さらには、所得税は非課税なんだけれども住民税の均等割のみがかかっている世帯についても10万円の給付プラス子供1人当たり5万円の上乗せということが決まったようであります。この給付金につきましては、新聞の報道によりますと来年の2月から3月というようなことが書いてあるところであります。そうしますと、次の2月議会に間に合うのかどうかというところがございます。もしもそれでは間に合わないということになれば、そういったことが詳細に分かった段階で、また議会のほうとご相談させていただきたいというふうに思っておりますので、その節にはまたよろしくをお願いしたいと思っております。

そのような中、本日は予算決算委員会を開催をいただきました。皆様方にはご多用の中、お繰り合わせ、ご出席をいただきまして大変ありがとうございます。

この委員会に付託されております案件でございますが、令和5年度一般会計補正予算のほか特別会計の補正予算が2件、企業会計の補正予算が2件ということでございます。どうか慎重にご審議をお願いしたいと思います。本日はよろしく申し上げます。

〈議長あいさつ〉

〈議案第５６号 令和５年度井原市一般会計補正予算（第５号）〉

〈歳入全般〉

〈なし〉

〈歳出〉

委員長（西田久志君） 初めに、執行部より発言の申し出がありますので許可いたします。

総務部長（藤原雅彦君） １２月１１日の本会議の議案審議における山下議員さんへの答弁について、一部追加の説明をさせていただきたいと思います。

議案第５６号 令和５年度井原市一般会計補正予算（第５号）の第３表債務負担行為補正追加の限度額につきまして、山下議員さんのほうから文書表現でよいのか、また地方自治法に抵触しないのかという質問をいただきまして、私のほうから地方自治法に債務負担行為の限度額の具体的な記載方法については規定はなく、地方自治予算制度研究会が発刊しております予算の見方・つくり方において、限度額について金額で表示することが困難なものについては文言で表示してもよいとされている旨、回答いたしました。

申し訳ございませんが、私のほうに認識誤りがございまして、当該様式の記入例につきましては、地方自治法の施行規則のほうで記入例について示されております。限度額の金額表示の困難なものについては、当該欄に文言で記載することができることと示されておりますので、追加で説明させていただきます。大変失礼いたしました。

また、本件につきまして具体的な金額表示がないため審議が困難であるというような発言をいただいておりますが、債務負担行為は将来の負担が発生する可能性が生じる時点であらかじめ予算で定めておくべきものであります。このことについて、この本補正予算で審議していただくこととしております。予算計上する該当年度には、また改めて具体的な金額を予算計上いたしまして、そこで審議していただくということになります。

それから、これからの歳出のほうを説明させていただきますが、給料、職員手当等共済費、会計年度任用職員報酬など人件費の増額、減額補正につきましては、本会議で申し上げましたとおり、職員の異動及び人事院勧告に準じた給与改定に伴うものでありますので、費目ごとの説明は省略させていただきます。よろしくお願いいたします。

委員長（西田久志君） 説明のとおり審査を行いますので、よろしくお願いいたします。

〈歳出第 10 款 議会費〉

〈なし〉

〈歳出第 15 款 総務費〉

〈なし〉

〈歳出第 20 款 民生費〉

委員（西村慎次郎君） 32、33 ページの障害者福祉費で、いつも質問させていただいてありますが、システム改修業務委託料につきまして 550 万円ということで、財源のほう国が半分、一般財源が半分ということですが、このシステム改修内容としてはどのような内容なんでしょうか。

健康福祉部次長（片井啓介君） このたびの改修でございますけれども、国の障害者総合支援法、児童福祉法によりまして定められております障害福祉サービスの報酬の改定が 3 年に一度ございますが、令和 6 年度に報酬改定が行われております。現在のところ国で作業を行われておりますが、4 月からの報酬改定に備えるための給付費の支払い事務に係るシステムを新しい報酬で対応できるような改修の内容というふうになっております。

委員（西村慎次郎君） そうなると、やはり国の制度改正が全面で、市独自の改修が必要な部分はないという理解でよろしいですか。

健康福祉部次長（片井啓介君） そのとおりです。

委員（西村慎次郎君） 毎回言ってますけれども、やはり国の制度改正であれば国が財源を出すべきかなと、10 分の 10 出すべきかなというふうに思いますので、引き続きその辺国に対する要望はしていってほしいなと思っております。

〈なし〉

〈歳出第 25 款 衛生費〉

〈なし〉

〈休憩中、執行部説明員入替え〉

〈歳出第30款 労働費〉

〈なし〉

〈歳出第35款 農林水産業費〉

委員（三宅孝之君） 41ページの環境保全型農業直接支援対策事業補助金についてちょっとお聞きしたいんですけども、説明資料の中に対象者とありますけども、この対象者の条件というのはあるんでしょうか、教えてください。

農林課長（中山浩一君） 当然、環境保全型農業の有機農業等々に取り組むということと、それからの国の定めております講習、それを受講し、その後で行われるテスト、これに合格をするということがまず初めの要件となっております。

委員（三宅孝之君） 市内では、ここでは2団体が対象者になっていますが、それ以外にはありますか、どんなでしょうか。

農林課長（中山浩一君） この事業を活用して農業をされたいという方は、2団体のみということでございます。

委員（三宅孝之君） 認定されているその2団体以外には、井原市内はございますか、どうでしょうか、お聞きします。

農林課長（中山浩一君） 有機農業等の栽培に取り組まれている団体であったり、農業者の方ということでは、数までは把握はしておりませんが、あくまでこの事業を使われたいという方は2団体のみというふうに承知をしております。

委員（三宅孝之君） それじゃあ、もしその認定された2団体以外でも手を挙げるとしたら申請できると思われるんですけども、申請はもうこの農林課のほうに直接申請すればよろしいですか。

農林課長（中山浩一君） 先ほど申しあげました要件というのは軽い一番初めの要件でございまして、当然農林課のほうへ個別ご相談をいただければ、個々要件に該当するのかしなのかということで相談をさせていただきたいと考えております。

委員（三宅孝之君） この事業は第三者委員会を設置するのが望ましいのか、設置するべきなのかということが国のほうで、農林水産省のほうであるんですけども、これ第三者委員

会というのは設置されて、これから効果、評価等はされていくのか、その辺お聞かせください。

農林課長（中山浩一君） 農林水産省の動きについてはちょっと詳細までは把握をしておりますが、現状のところには第三者委員会は設置しておりません。

委員（三宅孝之君） それじゃあ、この事業の地球温暖化や生物多様性、環境保全等を目指すというところ辺の効果や評価はしないということでしょうか。

農林課長（中山浩一君） 委員会ということでは評価をしておりますが、当然それぞれの団体から国の定めるチェックシート、そういったものを提出いただきまして、その中での評価ということにはなろうかと思えます。

委員（三宅孝之君） 目的が地球温暖化や生物多様性、環境保全等を目指すというのであれば、しっかりそのあたりのことも考えて、その対象者にしっかりそういった評価とかしてほしいなというふうに思います。

委員（大滝文則君） 本会議でも少し言いましたけども、このタハターニャに水稻、小麦、ブドウ、大豆。水稻、小麦等はそれこそ、有機無農薬で収量が減ってもできると思うんですけども、ブドウについてどうもイメージができないというお話をさせていただきましたけども、ブドウについてはどういう計画といいましょうか、申請が、どういうことをして生産していくんだ、それこそどこへ販売していくんだというような申請はどういうふうになってるんでしょうか、お尋ねいたします。

農林課長（中山浩一君） まず、本会でも説明させていただきましたように、土づくりということでは、自給のわらを土づくりのための資材として、化学肥料は使用しないということと、それからブドウ栽培においても農薬を使用せずブドウを栽培する、そして最終的にはワイン用のブドウということで、農薬を使わずに生産をしたブドウでのワインを製造して販売をするという事業計画をいただいております。

委員（大滝文則君） 面積はどのぐらいありますか。

農林課長（中山浩一君） ブドウにつきましては14.7アールでございます。

委員（大滝文則君） もう一回お願いします、もう一回。

農林課長（中山浩一君） ブドウにつきましては14.7アールでございます。

委員（大滝文則君） 約15アールのブドウ畑を無農薬で栽培するというと、この前言ったように、イメージが湧かないんですけども、日本というのは高温多湿で農薬を使わないでブドウをつくるということが非常に難しい、美星でも●●さんという方がそういうことでくってということで参入をされて、ご存じのとおり今訴訟問題になっているぐらいもう圃場が荒れてしまっているというような状況にあるんですけども、そういう可能性は考慮しなか

ったということでしょうか、もうこの今の案については全く問題なく、可能性があるという判断をされてここへあげたということによろしいでしょうか。

農林課長（中山浩一君） この方はもう既にワインの製品までつくられていらっしゃる方ですので、議員さんおっしゃられたその前例のような心配はないのかというふうに判断をしております。

〈なし〉

〈歳出第40款 商工費〉

〈なし〉

〈歳出第45款 土木費〉

〈なし〉

〈歳出第50款 消防費〉

〈なし〉

〈歳出第55款 教育費〉

〈なし〉

〈一般会計補正予算全般についての質疑〉

委員（大滝文則君） 歳入の項、寄附金で今現状でふるさと納税はどのようなになっているのか。それと併せて、見通しについてお尋ねいたします。

総務部長（藤原雅彦君） すみません、ちょっと担当に確認しますので、時間をいただきたいと思います。

〈休憩〉

総合政策部長（安東慎吾君） 失礼いたしました。お時間をいただきました。

ふるさと納税の現状ということでございます。

本年度の11月末時点ということで直近の数字、ふるさと納税まとめてございます。金額のほうで2億1,400万円余りということで、件数のほうも8,800余りということでございます。対前年でいいますと、大体90%ぐらい伸びているというあたりで、今年度目標のふるさと納税額、一応3億円ということでしておりますので、順調に伸びているところかというふうに考えてございます。今後とも力を入れてまいりたいと思います。

委員（大滝文則君） 昨年よりも1割ほど現状では少ないということですけども。

総合政策部長（安東慎吾君） 9割方増えております。1.9倍ということで、9割伸びているというところでございます。

委員（大滝文則君） 11月末で2億1,000万円ということで、その後も年末に向けて一番増えるときだと思いますけども、それは11月末で把握できるのか、日々把握できるのか、どういうふうなシステムになっているのでしょうか。

総合政策部長（安東慎吾君） いつ頃締めといいますか、分かるかというお話かと思えます。これは、実は様々な中間のサイトを活用してございまして、統一的に月末あたりで一応締めていっているという形をとってございます。

委員（大滝文則君） 予測では予定どおり、予算どおりぐらい行けるだろうということでございます。よその各市町は相当伸びているという話がありますので、今後ともご努力をお願いしたいと思います。

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈休憩中、執行部説明員入替え〉

〈議案第57号 令和5年度井原市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第 58 号 令和 5 年度井原市介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第 59 号 令和 5 年度井原市水道事業会計補正予算（第 1 号）〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第 60 号 令和 5 年度井原市下水道事業会計補正予算（第 2 号）〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

委員長（西田久志君） 以上で議案の審査は終了いたしました。

なお、委員会報告書の作成につきましては、委員長にご一任願いたいと思います。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 閉会に当たり、執行部で何かございましたらお願いいたします。

副市長（猪原慎太郎君） 終わりに当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

皆様方におかれましては、慎重にご審議をいただきまして大変ありがとうございました。
最大限の投資効果が得られますよう、タイムリーな執行に心がけたいと思っております。

なお、来週月曜日、議会最終日でございますが、追加で条例改正、それから物価高騰対策に伴います補正予算を計上させていただく予定としております。引き続き慎重にご審議をいただきたいと思います。本日は誠にありがとうございました。

〈議長あいさつ〉

委員長（西田久志君） 以上で予算決算委員会を閉会いたします。皆さんご苦労さまでした。